

# 新垂水図書館基本方針（案）に提出されたご意見（全文）及び神戸市の考え方

	意見（趣旨を損なわない程度に要約している部分があります）	神戸市の考え方
1	<p>図書館は誰もが学ぶスペースであるべきだと考えるので、学習スペースを十分に備えて欲しいです。（少なくとも机の使える座席で40席程度。それでも本当は全然足りない）図書館内で勉強することは悪ではないはず。中学生高校生大学生といった学生が無料で自習や学習できるスペースは不可欠。図書館と別の組織で行うのでは好き嫌いが出てきて行きづらさがあるため、図書館内に併設している事に意味がある。塾に行くお金がある人は塾の無料自習スペースが使えるが、塾に行くお金がなく、家で勉強できるスペースがない子どももたくさんいる。一日中図書館で大人が滞在することは許されて、若者が学校帰りの少ない時間を有効利用して図書館で宿題や受験勉強できないのは何故なのか。たしかに長期休みの時は混むかも知れないので、一日中図書館で過ごす事を必要とする人には学生が勉強することは邪魔に写るかもしれないが、それほどまでに図書館で学びたい、本を読みたい、学習したいと思う人が沢山いるということは図書館が地域社会にとってどれほど必要な場所となっているのかを再確認する事につながると考える。図書館は子ども連れの親子から年輩者までが幅広く読書したり学ぶことを楽しめ快適に過ごせる空間であって欲しいので、学習可能なスペースと席数を整えることはとても大切な事であると思う。神戸市の学力向上とリカレント教育の為にも十分な読書環境と学習スペースは必須と考えます。</p>	<p>基本方針の（1）「学びを支援する図書館」にあるとおり、新図書館には学習席または自習席は設ける予定です。スペースや席数につきましては今後設計者と協議を行ってまいります。</p> <p>また、基本方針（1）を「図書の閲覧や調べもの用の座席も居心地の良さを考慮し、自習ができる座席も可能な限り用意します」に変更しました。</p>
2	<p>① 30分無料の駐車場の設置をお願いします。台数は10台は確保して欲しいです。</p> <p>② 新刊の購入を予約しても、取引先の本屋で取扱っていないため、予約を取下げられることが多いので、幅広く購入できるようにして欲しいです。</p> <p>③ 兵庫県産木材の椅子を多数を配置して、海を眺めながら読めるなど読書に親しめる空間づくりをして欲しいです。</p> <p>④ 日本史の戦国時代をいきた個人の伝記に関する漫画を多数置いて欲しい。</p>	<p>①市立図書館では、従来より公共交通機関のご利用をお願いしており、30分無料の駐車場布は予定していません。自家用車で来館される場合は近隣の駐車場をご利用いただきますようお願いいたします。</p> <p>③県産材の利用につきましては、基本方針の「はじめに」に「木材を多用するなど温かみのある雰囲気をつくりまします」を追加しました。</p> <p>②、④いただいたご意見を参考に、可能なものは図書館資料の収集に反映してまいります。</p>
3	<p>新図書館にはぜひ、高齢者向けの紙芝居を沢山置いてほしいです。現在、介護施設に勤務しています。紙芝居が始まると皆集中してお話を聞いてくれて絵を食い入るように見つめてくれます。皆さんの表情がとても豊かになっています。こちらまで心が豊かになります。よろしくをお願いします。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、可能なものは図書館資料の収集に反映してまいります。</p>

4	<p>アイデア提案です。</p> <p>地域住民を主とした対象者として、「個人や団体等で読んだ本の寄付」を受付、蔵書とするものの他は、売却して図書館の運営費に充当する。</p> <p>受付する本の条件を明確に、簡潔に知らせて無駄を極力省く。これらの対応を登録された無償のボランティア人材で行う。</p> <p>以上です。取り留めない提案ですが、ご検討ください。</p>	<p>寄贈の受付に関しましては現在も行っておりホームページにも掲載しております。できるだけ図書館の資料として活用させていただき、それがかなわない場合は市民図書室などにも活用のお声掛けをしております。</p>
5	<p>いつも図書館を利用させて貰っています。</p> <p>意見募集の案内を見たので私見ですが、以下ご意見致します。(他の意見と重複する部分もありますが、ご容赦ください)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・英文図書も入れてほしいです。</li> </ul> <p>(海外の方も利用できるでしょうし、日本人にとっても英文読書のニーズは昨今高まっていると思います。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強座席に留まらず、できれば勉強室に近いスペースを作ってあげれば、学生たちの集いの場になると思います。(防音対策は必要になってくるかもしれませんが)</li> <li>・本棚と本棚の間はやはり、人がすれ違える程度のスペース確保は必要だと思います。</li> <li>・勉強スペース以外に、十分な座席を設置願います。(座席の予約制には反対ですが。PCやスマホなどを使わない人にとって相当不利な制度だと思いますし、足が遠のきます)</li> </ul> <p>以上、少しでもご参考にして頂けると嬉しいです。</p>	<p>英文図書につきましては、いただいたご意見を参考に、可能なものは図書館資料の収集に反映してまいります。</p> <p>書架間隔につきましては、新垂水図書館では、ユニバーサルデザインの考え方を重視し、誰もが使いやすい図書館を目指します。</p> <p>新垂水図書館は居心地のいい滞在型図書館を目指しています。いただいたご意見を参考に、可能なものは新図書館の設計や整備に反映してまいります。</p> <p>また、基本方針の(3)に「十分な通路幅を設けるなど」の文言を追加しています。</p>

いつもありがとうございます。

新垂水図書館の意見を送らせていただきます。

①車椅子でも入れるスペースのトイレに、赤ちゃんではなく、学齢期以上の障害児または大人がオムツ交換できるベッドを設置して欲しいです。

ベッドの置いてあるトイレは少なくても重度心身障害者にはお出かけの切実な困り事です。

- ・介助者が身体に無理なくオムツ替えができるスペースと、車椅子を置けるスペース
- ・ベッドの配置は当事者に聞いて欲しい。ドアを開ければなしじゃないとオムツ替えできないみたいなトイレもあるのが現状です。もしかしたら、三宮の市役所のトイレもそうだったかもしれません？入口を塞ぐようにベッドがあると、真ん中に車椅子を置いて、介助者がオムツ替えをするのに身動きとりにくくなる場合があります。
- ・トイレトペーパーの設置位置も手の麻痺があったり、動かしにくい人にとっては取りにくいだろうと思うこともたまにあります。総合運動公園の競技場のトイレは後ろすぎて背中がつりそうな位置に。また、手すりトイレトペーパーの位置が重なっていることもあり取りにくいだろうなと思います。壁とトイレの便器が近すぎても取りにくいですね。

・自力で車椅子を操作できる人と、常に介助が必要な重度心身障害者とではトイレの使い方も変わってくると思いますので、同じ予算を使うなら様々な当事者たちの意見を聞いてから作ってもらえたら嬉しいです。トイレのシュミレーションなどがあれば参加したいです。

また、「みんなのトイレ」「多目的トイレ」「多機能トイレ」など色々と呼び方が新しくなっていますが、駐車場ですら車椅子マークがあっても停める必要のない人が停めることが多いので、トイレはそこしか使えない人が困らないような表示の仕方にして欲しいです。障害者優先トイレとか。ホームレスの方が住むのでベッドを撤去されたトイレもあるようですが、それだと困る人がいますので、そんなことがあっても撤去しないでもらえると助かります。

②障害児分野の本で、以前購入希望を出したところ、新しい本では無いので出来ないということでした。最新ではなくても、10年も20年もは古くないと思うので、良いものは取り扱って欲しいです。

③風通しが良いまたは、屋外のテラスなどでも読書をして過ごせるような感染症対策にもなる建物ならいいなと思います。

以上です。よろしく申し上げます。

①トイレも含めまして、新垂水図書館では、ユニバーサルデザインの考え方を重視し、誰もが使いやすい図書館を目指します。

②いただいたご意見を参考に、可能なものは図書館資料の収集に反映してまいります。

③新垂水図書館は居心地のいい滞在型図書館を目指しています。いただいたご意見を参考に、可能なものは新図書館の設計や整備に反映してまいります。

7	<p>海が近い垂水の町が好きで、よく出かけます。</p> <p>新図書館の敷地は駅前広場に隣接しているという利点を通じて、市民ならびに市民でなくても小旅行などで垂水を訪れる兵庫県民も立ち寄れる、図書館を通じた交流の場として、開かれた施設になると望ましいと思います。</p> <p>また図書館は貴重な本の貯蔵庫でもありますので、保管には充分注意して頂き、本が日焼けすることのないように。また読書室は静かに本に没頭できるような環境を確保して欲しいです。</p> <p>垂水の地域のことを愛し、よく知っている地元の建築家に関わって設計してもらうのがベストだと思います。</p> <p>その上で、市民と建築家が将来にわたり長く協働して作り上げることができれば理想だと思います。</p>	<p>コンセプトとしましては、西側にあります広場と一体となって街に開かれた場としての図書館を目指しており、そのような施設となるよう工夫をしてみたいです。</p> <p>また、資料の管理や音のゾーニングなどにつきましても設計者と十分協議しながら進めていきます。</p> <p>新垂水図書館の設計者は公募型プロポーザルにより選定し、設計者のグループには神戸市出身者も含んでいます。</p> <p>今後いただいたご意見を参考に、設計協議をしてみたいです。</p>
8	<p>神戸市出身で、大阪へ出て数年が経ちました。</p> <p>小旅行気分神戸に出かけることもよくあります。図書館は市民の触れ合いの場でもありますし、遠方からの旅行者にはちょっとした休憩スペースにもなり得ます。</p> <p>地元をよく知り、地元を愛している素晴らしい建築士に作ってほしいです。</p>	<p>新垂水図書館の設計者は公募型プロポーザルにより選定し、設計者のグループには神戸市出身者も含んでいます。</p> <p>今後いただいたご意見を参考に、設計協議をしてみたいです。</p>
9	<p>幼い子が自分で気になる本を選べるような収納の本棚、子どもと本を読む広めのキッズスペースがあれば有り難いです。</p>	<p>設計者と十分協議を行い、子供にも選びやすいような棚づくりを心掛けたいと思います。</p> <p>キッズスペースにつきましては、設計者との検討の際の参考にさせていただきます。</p>
10	<p>神戸は海と山に囲まれている光景を懐かしく思います。以前住んでいたもので度々、神戸に出向く事もあり今回、新垂水図書館の建設を知りました。</p> <p>のどかな雰囲気、海を眺めながらのんびりと読書ができる建物。</p> <p>市民の声、意見を聞き地元の建築家の方々と意見交換し素晴らしい図書館ができればいいですね。</p>	<p>新垂水図書館は居心地のいい滞在型図書館を目指しています。</p> <p>いただいたご意見を参考に、可能なものは新図書館の設計や整備に反映してみたいです。</p> <p>新垂水図書館の設計者は公募型プロポーザルにより選定し、設計者のグループには神戸市出身者も含んでいます。</p> <p>今後いただいたご意見を参考に、設計協議をしてみたいです。</p>
11	<p>本を予約する際に、本の表紙とあらすじが閲覧出来るようにして欲しい。</p> <p>貸し出しを延滞しないように、返却日の3日前にメールでお知らせして欲しい。</p> <p>表紙を見て選べるように、絵本を棚に並べて欲しい。</p>	<p>いただいたご意見を参考に、今後の検討課題とさせていただきます。</p>

12	<p>垂水駅から、新垂水図書館まで雨に濡れずに行けるようにファサードがあれば、暑さや雨に左右されにくく、利用されやすいと思います。</p> <p>学習室の有無は、若い世代の利用に直結するので、どのような学習室にするかはとても重要だと思います。YAコーナーを学習室のそばに設置して、自然と手に取りやすくなると思います。</p>	<p>図書館外部のご意見につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。</p> <p>新垂水図書館は、学びを支援する図書館を目指しており、図書の閲覧や調べものの用の座席のほか、自習が可能な座席を設けます。</p> <p>いただいたご意見を参考に、可能なものは反映してまいります。</p>
13	<p>北区の岡場の図書館の見学に参加しましたが、とても居心地の良い図書館でした。</p> <p>参考にされると思いますが、学生、高齢者への、サービスがあまり見ることができませんでした。小さな子育て世代を中心の様でした。</p> <p>高齢者、学生、小学生も含めて足が向く様な仕掛け、又は連携があればと思います ♡□</p> <p>図書館に行って、ほっとできる空間があると良いですね。</p> <p>又、海に近いので、防災なども完備し、学べるスペースもあると、他との差別化も出来ます</p>	<p>新垂水図書館では、子どもの成長を見守るだけでなく、誰もが使いやすい図書館、交流を促す図書館を目指します。</p> <p>「ほっとできる空間」や「防災を学べるスペース」につきましては、今後設計者との協議の際の参考とさせていただきます。</p>
14	<p>雨の日に子どもたちが、本を読むだけでなく、少し体を使ったりもして遊べるようなスペースもあるといいと思います。飲食もできたり、雨の日に子どもと楽しく過ごせるといいと思います。</p> <p>駐車券がもらえるとありがたいです。</p> <p>よろしくお願いします。</p>	<p>新垂水図書館は居心地のいい滞在型図書館を目指しています。いただいたご意見を参考に、可能なものは新図書館の設計や整備に反映してまいります。</p> <p>市立図書館では、従来より公共交通機関のご利用をお願いしており、駐車券配布は予定していません。自家用車で来館される場合は近隣の駐車場をご利用いただきますようお願いいたします。</p>
15	<p>5点有ります。</p> <p>1)勉強会が出来る様な個室を作って欲しい。</p> <p>2)映画を上映する防音の部屋もを作って欲しい。</p> <p>3)明石の図書館は学習室に関する館内放送が多く、耳障りである。抽選をしなくてもいい位に学習する場所を多目に確保して欲しい。</p> <p>4)飲み物だけでなく、食事出来る店を作って欲しい。</p> <p>5)専門書の棚毎に、興味を持てる様なイラスト入りの軟らかな紹介文を掲示して欲しい。</p> <p>以上です。宜しく願い申し上げます。期待しております。</p>	<p>1)、2)、3)、4)につきましては基本方針の「必要な設備機能」の記述にもとづきながら、設計者との検討の際の参考にさせていただきます。</p> <p>5)につきましては、今後の運営の検討の際に参考とさせていただきます。</p>

16	<p>垂水図書館がこの度新しく生まれ変わることに、とても楽しみにしています。現在、垂水東口バス停下車からすぐ、直接建物には入れることがとてもありがたく便利だと考えています。</p> <p>家族が「人肢体不自由であること（車いすも有）もあり、新しい図書館への要望は、</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・バス停から傘をささないでも建物へ入れること</li> <li>・エレベーター設置はもちろん、段差や傾斜がなくフラットであること</li> <li>・通路が車いすが通れる十分な幅であること</li> <li>・本があまり高い位置でないこと</li> <li>・バス停－区役所－図書館－垂水駅が雨に濡れないで行き来できるような設計にしてもらえたらと切望します</li> </ul> <p>☆駅前広場付近はビル風がとても強く、暴風雨時は歩けないほどです。対策をお願いしたいです。</p> <p>自家用車で移動、送り迎えすればいいというだけの簡単な問題でなく、一人の人間が自立へ向けて生活していくためでもあります。高齢者や乳幼児、障害者が利用しやすい場所であることは、市民全体にとっても同じだと思います。</p>	<p>新垂水図書館では、ユニバーサルデザインの考え方を重視し、誰もが使いやすい図書館を目指します。</p> <p>いただいたご意見を参考に、可能なものは、設計や整備に反映してまいります。また、基本方針の（3）に「十分な通路幅を設けること」という文を追加しました。</p> <p>その他のご意見につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
17	<p>趣旨は賛成です。新図書館案に対するコメントを記載します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・出入り口が2Fであることに危惧があります。階段は高齢者には使いづらい。エスカレータは必要と考えます。</li> <li>・車で来所する高齢者（1F部分利用）はエレベーター利用を配慮願いたい。</li> <li>・駅、バス停からのアプローチで雨天に対する設計を考慮願いたい。</li> <li>・SDGs に対する対応もコンセプトに入れてほしい。例えば屋上は風力発電を使用など。また駐車場4台はEVが給電可能な設備を準備するなど。</li> </ul>	<p>新垂水図書館では、ユニバーサルデザインの考え方を重視し、誰もが使いやすい図書館を目指します。</p> <p>いただいたご意見を参考に、可能なものは、設計や整備に反映してまいります。</p> <p>その他のご意見につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。</p>
18	<p>「人と本のみなど」というコンセプトは垂水の新しい図書館としての可能性を感じさせてくれます。特に「人」が先にあるところが、住民が中心になって図書館を作りあげていくとの意思を感じます。</p> <p>アンケートからくみ取れる、多くの図書館に対する要望を形にしようとする基本方針であり、これが実現することを大いに期待しています。</p> <p>図書館単体の建物は神戸市内では中央図書館をのぞいてはなく、これまで複合施設のため制限があったであろう設計の面で、図書館本位のものになることを望んでいます。図書館建設の経験がある設計者と、神戸市の司書のみなさんの知恵のつまった図書館になりますように。</p>	<p>新垂水図書館の設計者は公募型プロポーザルにより選定し、選定の際には、図書館建築の経験も条件にしています。</p> <p>今後いただいたご意見を参考に、設計協議をしてまいります。</p>

19	<p>こんにちは。今日初めて垂水図書館を利用し、図書館が新しくなることを知りました。</p> <p>1歳の子供の絵本を探していたのですが、作者名順に並んでおり、月齢に応じた絵本を見つけるのにかなり時間がかかってしまいました。新しい図書館では子供のコーナーは月齢に合わせたエリア分けをしていただけたら助かるな、と思いました。</p> <p>また、調べ物をしながらPC入力ができるようなコンセント付きのデスク環境などあれば大変助かります。(少しずつの欲しい情報のために何冊も持ち帰るのは大変ですので)</p> <p>新しい図書館を楽しみにしています。</p>	<p>絵本の並べ方や運営につきましては、今後の検討の際の参考にさせていただきます。また、基本方針(2)に「年齢に応じて選びやすいよう絵本の配架を工夫します」という記載を追加しました。</p> <p>コンセント付きのデスクにつきましては、本案の「必要な設備機能」にも記載しております。</p>
20	<p>子育て中で、現在、よく利用させてもらっていますが、図書館にいくと、絵本コーナーは、どの本がどの年代が読みやすい本なのか、全くわかりません。作者別に並べるのではなく、年代別におすすめの本などの並べ方だとありがたいです。また、年代別におすすめの本の情報など掲示してもらえると嬉しいです。結局、いまは、図書館にいてもどの本がよいのかわからないので、ネットで検索して、予約してかりています。図書館の楽しさを子供にも伝えたいので、足を運んで楽しい図書館にしてほしいです。</p> <p>それと、細かいことなのですが、現在、返却する際、垂水図書館の本は棚に置くように言われます。一人ならいいのですが、特に赤ちゃんを抱っこして来館した際など、本は重いので困りました。(館の人をお願いしたがしてもらえなかった)お年寄りも同様かと思います。どうか改善案してほしいです。</p>	<p>絵本の並べ方や運営につきましては、今後の検討の際の参考にさせていただきます。基本方針(2)に「また、年齢に応じて選びやすいよう絵本の配架を工夫します」という文を追加しています。</p> <p>また、現在の垂水図書館についてですが、お困りのことがありましたらお気軽にスタッフにお声掛けください。</p>

アンケート結果をもとに「多様な使い方を選べる図書館」を目指して新垂水図書館基本方針（案）を作成していただき、ありがとうございます。

基本方針の（１）学びを支援する図書館、（２）子供の成長を見守る図書館、（３）誰もが使いやすい図書館、については予算や広さの制限の中でできるだけ充実していただけたらと期待しております。

気がかりなのは、（４）街に開かれ、交流を促す図書館、についてです。地域館なら、小さな自治体で実現できているような地域に密着した「おらが町の図書館」にできるのではと思います。図書館が、単にイベントを提供するのではなく、図書館を拠点とする住民の自主運営的なサークル（但し図書館の資料を使うサークル、例えば、郷土資料研究会、歴史研究会、推理小説研究会、古典読書会、子どもの本研究会、映画研究会・・・等）や、新垂水図書館の上記（１）

21 （２）（３）を応援する自主運営的なボランティアの枠組みを準備していただけないでしょうか。住民と図書館の信頼関係がなくては実現できないことだとは思いますが、自治会など、地域活動が衰退していく中において、住民の力がどのくらいあるのかが試される企画ではありますが、住民が受け身になって全て図書館から与えてもらうのではなく、自分で学び取っていくことを楽しむ余地を作っておいていただきたい、生涯の学びとは、そのようなものではないかと思いません。

家人が「駅やバス停、レバンテから雨に濡れずに行けたらな～」と言っているのを聞いて、最初はわがままな事を言っていると思いましたが、子どもの手を引いて、乳母車を押して、杖をついて、団体貸し出しの本を持って・・・、本が濡れないように気をつけながら傘をさすのは大変。雨の日にとどる道筋は、おそらく風の日も雪の日も晴れの日もとどるのではないのでしょうか。合言葉は「じゃあ、図書館で」、にしたいです。

基本方針にもとづき進めてまいります。ボランティアの枠組みにつきましては、今後運営についての検討の中で考えてまいります。基本方針に「ボランティア活動の場の提供」という表現を加えました。

その他のご意見につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。

(1) 館内飲食の禁止

館内にカフェを併設する動きが他地域に見られますが、私は反対です。

【理由】飲食可にすると、以下のリスクを生じます。

- ①書籍の汚染
- ②子供の食べこぼし
- ③食べ物が入っていた箱や紙の放置
- ④ペットボトルの放置
- ⑤掃除の手間とクリーニング費用の発生
- ⑥ゴミ処理費用の発生
- ⑦弁当持参で長居する人（図書館に住む人）への対応
- ⑧以上に対処する司書の仕事の増加

(2) 吹き抜け構造の禁止

館内を吹き抜け構造にした所が他地域に見られますが、私は反対です。

【理由】吹き抜け構造にすると以下のリスクが生じます。

- ①冷房や暖房の空調が効きにくい
- ②二階からの本や人の落下 ※二階の高所棚の配架で脚立を使用している場合は、司書が階下まで落下して死傷する恐れあり
- ③落下してきた書籍が階下の人に当たって死傷する恐れあり
- ④落下対策に対する余分な費用の発生
- ⑤天井が高くなるので、照明が遠くなり、暗くなる

(1)、(2)、(6)につきまして

新垂水図書館は居心地のいい滞在型図書館を目指しています。いただいたご意見を参考に、可能なものは新図書館の設計や整備に反映してまいります。

(3) 多目的トイレについて

新垂水図書館では、ユニバーサルデザインの考え方を重視し、誰もが使いやすい図書館を目指します。

いただいたご意見を参考に、可能なものは、設計や整備に反映してまいります。

また、基本方針(3)に「オストメイト対応のトイレの設置」という文言を加えました。

(4)、(5)について

いただいたご意見を参考に、可能なものは図書館資料の収集に反映してまいります。

(7) 地下に駐輪場・駐車場の併設

図書館の地下には蔵書を置かず、原動機付自転車駐車を整備する予定です。

⑦蔵書数の減少

(3) 多目的トイレ設置

様々な人に利用してもらう為に、以下の設備をお願いします。

①車椅子対応の設備

②乳児のオムツ交換台

③パンツタイプのオムツを履き替える為の着がえ台 ※ベビーのオムツ台では耐荷重量を超える2～3歳や、尿漏れパッドを利用する高齢者向け

④人工肛門の方の為の設備

(4) 絶版本の保持

活字離れが叫ばれる昨今、出版社が出す本の数も減っております。絶版となりやすい専門書等の蔵書保持をお願い致します。研究者にとって、最後の頼みの綱が図書館です。

絶版本の電子版貸出についても、法整備によって今後可能になるかもしれません。その設備機材導入の事もご一考下さい。

(5) 蔵書数の充実

子供の貧困が社会問題になる中、本はもはや贅沢品です。夏休みの課題図書は、買うのではなく図書館で借りたい家庭も多いでしょう。せめて推薦図書、課題図書の利用者が増加する時期は多数の入荷をお願い致します。

金額的に高く、嵩張りやすくて個人では持ちにくい各種辞典、図鑑、写真集、画集、全集の充実。同じ本でも訳が様々にあるシェイクスピアや「星の王子さま」は、訳が比較できるよう多種入荷して下さい。

(6) バックヤード作業台の充実

本の入荷、ラベル貼付、修繕、他図書館から借り入れ・返却する為の作業場所が必要です。司書・作業員が効率的に作業できるためにも、ある程度広く合理的な設計のバックヤードの充実をお願いします。具体的な内容については実際利用する司書にご相談ください。

(7) 地下に駐車場・駐輪場併設

2019年の関東で起きた台風災害で浸水した所は、多くの蔵書や資料を水没させ、汚染しました。地下施設を作る場合は、蔵書を置かず、遠方から来る利用者の為の駐車場・駐輪場にして下さい。その方が普段利用しやすく、浸水の恐れがある時は閉鎖する事で有事に備えられます。垂水図書館は河に近いですのでご一考下さい。

23	<p>・「垂水東口バスターミナル」(特に降り場)の垂水駅からの距離があまりにも遠いため、新図書館の下は一般車両ロータリーではなくバスターミナルにした上で現東口バスのりばを一般車両ロータリーにすれば良いと思います。</p>	<p>図書館の下は一般車両のロータリーとして整備する予定です。</p>
24	<p>最大の問題は、垂水駅前に集まる生活困窮者の方々への対応である。居心地の良い環境は素晴らしいが、この方々への対応を考慮しておかなければ溜まり場となり、館中でのトラブルは必ず出てくると思われる。</p> <p>本当に「本」が必要なのか、これから必要とされるなら最新の電子書籍や、タブレットではないでしょうか？</p> <p>明石市への転出理由の多くは、子供にかかる医療費の助成の充実であり、若年子育て世代を誘引することにはつながらないと思われる。</p> <p>交通ロータリーの整備について、交通ロータリーの設置により、垂水駅東口の交通量が増え、さらなる渋滞が引き起こされるのではないかと。これにより、山陽バス、タクシー、搬入業者、介護車両、救急車等様々な車への影響が及ぶと考えられる。</p> <p>これからの時代に本は必要なのか。ペーパーレス、電子化、ハンコすらなくなろうとしている中で、本は紙である必要があるのかと思われる。電子化することによる、書籍スペースの縮小や、1台のタブレットで複数の人が、同じ文章にふれる事ができる等、電子化の方がメリットが多いのではないかと。利用者に高齢者が多く、若年層は携帯電話の普及率、使用率と反比例しているのではないかと。若年層からすればスマホで調べることができるからで、特別な学術書が在り、垂水以外からの人が、わざわざ来館するくらいの図書館にすべきではないかと。</p> <p>本のスペースを減らし、学習するスペースや、絵本やカフェスペースを拡充し、調べ物をされる方には、最先端のタブレットが良いのでは。</p>	<p>基本方針は設計や整備の基本的な考え方を示すものです。今後とも市民のご意見をお聞きしながら進めてまいります。市立図書館では本の収集に努めるとともに、電子図書館も本格実施しており、電子書籍も充実していきます。新垂水図書館は居心地のいい滞在型図書館を目指しています。いただいたご意見を参考に、可能なものは新図書館の設計や整備に反映してまいります。交通ロータリーに関しましては、いただいたご意見の趣旨を踏まえて整備してまいります。</p>

[1]令和5年完成予定の新垂水図書館に大きな期待と希望を寄せています。ただ、垂水区は広範囲にわたり住宅地が点在し、人口も多く高齢者が多いと見受けられます。

市民の公平な利用を考えますと、次の展開として、駅前の新垂水図書館を中心とした、分館や分室、そして今以上の返却ポストなどの存在が必要ではないでしょうか。

多くの市民の文化的な居場所としての図書館が、もっと増えていくことを切望します。

[2]垂水から連続21年間、単身赴任です。川崎、アメリカ東海岸と西海岸、今は東京文京区に住んでいます。それぞれの場所で図書館を利用させて頂いた経験から、意見を述べさせていただきます。

25

図書館は、その街の市民の憩いの場所だと強く思います。その憩う様子は、実に様々である事を実体験しています。但し共通点が在ります。それは「自宅から歩いて行ける場所」という事です。

例えば、文京区には10館在ります。私が住んでいる官舎から徒歩15分で行ける場所(方向は逆ですが)に2館在り、その日の気分で選んでいます。とても幸せです。

新垂水図書館に大きな期待を持っています。更に、叶う事で在りますならば、文京区のような幸せを与えてくれる「歩いて行ける」多くの分館を期待します。

図書館サービスのあり方については、いただいたご意見を参考に、今後の検討課題とさせていただきます。

現在の基本方針（案）に加え、以下の内容を希望します。

#### 【基本機能】

利用時間帯の拡大…平日9時～21時、土日祝日9時～19時（あかし市民図書館並）。

書籍除菌機の充実（返却時に自動除菌）。開館時にはコロナ禍は収まっていると思いますが、一般的な除菌は必要。

市内図書館員や大学司書による、お薦め図書の紹介等、図書に纏わる情報を得る機会を設ける。

#### 【蔵書】

生涯学習や学び直しのため、その時代時代の小中学校の教科書を揃える。

視覚障がい者や高齢者に優しいCDブックや映像ソフトなど視覚に依らない書籍情報の充実。郷土・行政資料コーナーほど堅くなく、生活密着や遊びの要素を加えた身近な”ディスカバー垂水”的な情報の発信。

#### 【予約図書受取コーナー】（新垂水図書館の開設と関係ない日々の希望です）

ランチ学園都市に司書を配置し、利用日・時間帯も拡大し、新垂水図書館の”北出張所”（ランチ）として機能充実願いたい。商業施設が開いている日や時間帯に返却すらできないのは資源を活かしきれず勿体ない。

神陵台小学校も土日祝日とも開室いただきたい。

#### 【情報システム】

図書館端末での蔵書検索機能（OPAC）に“マイページメニュー”加え自宅と同じ環境に近づける。また、兵庫県内図書館横断検索も使えるようにする。

基本機能については、書籍消毒器を導入します。

蔵書については、CDブックやLLブックなど高齢者や障害のある方が使いやすい図書を準備します。

垂木区の情報発信につきましては、基本方針（案）（4）でもふれているとおり、垂水暮らしの魅力を伝えていく予定です。

予約図書受取コーナーについては、本年3月に開館する名谷図書館を含め、全体としてサービスの充実に努めます。

情報システムについては、いただいたご意見を参考に、今後の検討課題とさせていただきます。

休憩スポットのご指摘については、居心地のいい滞在型図書館を目指してまいります。基本方針の（1）に「閲覧や調べもの用の座席も居心地の良さを考慮し」という文章を追加しました。

その他のご意見についても、可能なものは新図書館の設計や整備に反映してまいります。

“マイページメニュー”に貸し出しや閲覧記録を残せるようにし、希望者には、同じ本の読者同志で意見交換できる公設の安全なSNSを創設する。

蔵書閲覧や貸出記録から購入に繋げやすくするため、市内書店の検索システムを希望。

【休憩スポット】

一般的な閲覧コーナーとは一線を画し、穏やかなBGMが流れる知的な喫茶店の趣を望みます。料金をしっかり取り、JRのグリーン車や飛行機のビジネスクラス以上の様な落ち着いた雰囲気があれば、図書館利用者以外の市民の憩いの場と兼ねることができると思い、また展示・交流スペースで検討されている飲食可能な場所との兼用若しくは併用も出来ると思います。

閲覧コーナー内には、手軽な自販機を望みます。

【その他】

垂水駅、垂水駅東西のバス停から、雨に濡れない導線の確保。

地下鉄全駅への、構内外から利用できる24時間対応可能な返却ポストの増設。

巻数の多い図書やシリーズものの連番予約対応（上中下の3巻程度は対応願いたい）。

雑誌検索は、最新12冊分（月刊誌1年）から50冊（週刊誌1年）以上への対応。

市民や企業、官公庁からの図書などの寄付受入の拡大。

隣接する西宮市、芦屋市、三田市、三木市、明石市立図書館との相互貸し出しも順次検討いただきたい。

新垂水図書館について

垂水図書館が新しく建設されると聞き喜んでおります。

聞くところによりますと今より明るく、広くなるとのこと、

その中で親子で本に親しみ、気兼ねなく集え、ふれあいの場所が欲しいと思います。

例えば読み聞かせがあったり、パネルシアター等があったり、おすすめの本の紹介コーナーがあったりと気軽に本に触れあえる機会をたくさん作ってほしいと思います。

また、学生たちが気軽に立ち寄り、調べ物をしたり、読書をしたり時には同じ年代の人が集い読書会等をしたりする場所もあったらと思います。

スマホ、パソコンでのつながりが多くなっているこの頃、活字離れを寂しく残念に思います。

高齢者にとっても、気軽に本を読み、本を借りることができるよう配慮をお願いします。

基本方針（案）の（2）「子供の成長を見守る図書館」、（3）の「誰もが使いやすい図書館」の考えにもとづき進めてまいります。

また、本にふれあえる機会づくりなど、いただきましたご意見を参考に、可能なものについては今後反映してまいります。

いつもお世話になっております。この度は身近な垂水図書館が新しくなるということ、大変嬉しく楽しみにしております。新垂水図書館は、今よりも垂水駅から少し近くなるので、重い本を借りたり返したりするのに便利になります。出来れば、駅から雨に濡れずに行けるといいなと思います。

音に係るゾーニングを重視ということありがとうございます。孫と一緒に伺った時に、声を出して絵本を読んだり、会話が出来るスペースがあると大変助かります。図書館では静かにしなければならないという今までの常識では、小さい子どもと出掛けた時や、知人と会って会話する時には周りに気を遣ってしまい、場所を変えなければならないので。

自分自身もだんだん年を取って老後の生活を考えた時に家の中だけで過ごすのではなく、体力があるうちは外に出て刺激を受けたいと思います。新垂水図書館で新聞を読んだり、雑誌を読んだりちょっと休憩して飲み物を飲んだりしながらゆったり、そして刺激も受けながら暮らしたいと思います。

コロナでの外出自粛期間に、地域の皆さんとの何気ない日常会話がどれだけ大切なことかを知りました。合言葉「じゃあ図書館で！」を交わし、大いに利用したいと思います。

明るい図書館を期待しています。どうぞよろしくお願いいたします。

雨に濡れずに行ける動線につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。

音のゾーニングその他につきましては、基本方針に沿って整備を進めてまいります。

合同会社ROUNDPOINTの梅谷周平と申します。

神戸市中央区にて自家焙煎スペシャルティコーヒーショップの運営、コーヒー豆の自社輸入、カフェプロデュース事業などコーヒー関連事業を中心に行っております。

この度は、私自身の出身地でもある垂水区の図書館移設にあたり、意見を述べさせていただきます。

要点としては、飲食部門を単なる食堂としての機能にとどめるのではなく、質的に充実したものにすることによって、図書館の付加価値をより高めることができると考えて居ます。その為の方向性について、少し意見をさせていただきたいと思います。

まず、弊社としては、図書館などの文化施設内へのコーヒーショップの役割というものに非常に意義を感じております。

コーヒーという日常に溶け込んだものを通して、普段馴染みのない文化施設へ足を運ぶ方も出てくるかと思えます。コーヒーのある時間、空間が文化施設(ここでは図書館)への一つのチャネルになることはごく当たり前のようなことにも感じます。

ただコーヒーが飲めるだけではなく、コーヒーをきっかけにそこに人が集まり、また素材の背景に社会的な意義(オーガニックや途上国への還元など)のある商品の提供により、空間としての質を高めることができるのではないかと考えて居ます。

そして、人々の日常の行動が自然と社会につながる消費行動となるような仕組みを作ることで、図書館がきっかけとなりより良い社会を築くこともできるのではないのでしょうか。コミュニティの創造、倫理的な消費行動の啓蒙、垂水区や神戸市の市民活動への参加など。

参考情報にはなりますが、欧米では、図書館、美術館内にオシャレで居心地の良いコーヒーショップが入っていることが当たり前のようであり、それが施設を訪れる一つの理由にもなっています。

新垂水図書館は居心地のいい滞在型図書館を目指しています。いただいたご意見を参考に、可能なものは新図書館の設計や整備に反映してまいります。

県外から垂水に住み10年になります。垂水は住みやすく、ここで育った世帯がまた垂水に住むということが多くのように思います。

基本方針（案）では、子育て世帯や学生を支援するような内容でしたが、ぜひ、高齢者がお孫さんと訪れて安心してすごせるような図書館にしていきたいです。

具体的には、広さが確保できるのなら、子どものスペース、静かに読書できるスペース、図書館の資料で調べ学習できるスペースをそれぞれ設けていきたいです。

30 もう1つは、“リノベーション神戸”らしく、新しい図書館にしていきたいです。施設が新しいだけでなく、内容も新しい、人々の交流ができるような、活気のある図書館にしていきたいです。指定管理者も図書館関係だけでなく、イベントやIT関連で、神戸の企業に入っていたら、若い人が一緒に企画できるような催し物等を図書館建物内で行ってほしいです。

垂水はJRと山陽電車があり、北には地下鉄があり、その南北を山陽バスが通り、学校も多くあるので、新しい図書館になれば、今まで図書館を利用していない若い人の来所も期待できるのではないかと思います。

新垂水図書館では、学びの支援のほか、子どもの成長を見守る図書館、誰もが使いやすい図書館、交流を促す図書館を目指します。指定管理者に関するご意見につきましては、今後の検討課題とさせていただきます。

垂水区は多くの住宅街があり、地域も東西南北広範囲にわたっています。

そして、元気な高齢者の皆さんが生き生きと生活されています。また、若い人たちも美しい海と橋、広い公園・散歩道など子育てにもよい環境だと注目しています。

そのような中、駅前に「新垂水図書館」設立のお話を伺い本当にうれしく心から期待しています。

以前、認知症ケアについて大学名誉教授のおはなしを伺ったことがあります。

私たちが望んでいる健康寿命の男性全国1位女性全国3位の山梨県では、人口10万人当たりの図書館数が全国1位だったそうです。

このような事実から「本や雑誌を読む」ことは行動変容のきっかけを与えてくれると話されました。

蔵書数の拡充やスペースの拡大によって新図書館の滞在時間や新しい利用者数の増加をさせるという目的は、垂水区にたくさん住まわれている高齢者の皆さんのニーズを間違いなく満たすことと思います。

また、子供たちには心豊かに本の世界に触れ、夢や希望を膨らませてもらいたいと常々思っています。

スペースの拡充に伴う音のゾーニングによって親御さんも気を遣わずに子どもたちを図書館に連れてくるようになると思います。

また、高齢者を含め障がい者の方々が利用しやすいように「こうべ・だれでもトイレ」を作ってくださいとも伺っています。トイレの問題は外出する上でとても重要な問題です。現図書館の手狭なトイレから新図書館のスペースのある新しいトイレが使えるということで、障がい者の方々が来館される敷居を下げることになるに違いありません。

駅前という立地はたくさんの人たちがいろいろな目的をもって集まってきます。

にぎやかな駅前を想像すると本当に心がワクワクしてきます。

一日も早く新図書館が設立されることを望んでいます。

基本方針は設計や整備の基本的な考え方を示すものです。今後とも市民のご意見をお聞きしながら進めてまいります。

また、基本方針の「だれでもトイレ」についての記述を、より具体的にしました。